

Vol.1

道路維持 雑草対策情報局

グリーンナップレター

## 道路の問題雑草 シリーズ①

今回のテーマは・・・「セイバンモロコシ」



イネ科の多年草。アフリカ原産の帰化(外来)植物で荒地、埋立地、土手、道端などに大群落をつくっている。日本国内の生息域は北海道と沖縄諸島を除く全国。1945年前後に関東から広がったとされているが、日本への侵入経路は分かっていない。

地下茎が横に伸びるため、種子よりも地下茎のほうが繁殖力が強い。茎は太く、大きな株となり高さ1~1.8m。葉は長さ20~60cm、幅1~2cm、ススキと異なり葉のへりはざらつかない。葉は幅広い線形で、もろくて折れやすい。8~9月になると茎先に大型の穂をつける。

## 発生した雑草を放置すると・・・

景観の悪化・通行の妨害・視界の遮断・舗装の損壊などがおきる。また、生育した雑草が病害虫の巣窟や、雑草種子源となるため、被害が拡大する。

特に通行者の多い歩道や、歩道の無い道路は、雑草を避けるために道路側にはみ出して通行することがある。危険箇所はチェックを行い、事故が発生する前に対策を考えることが重要である。



雑草問題のお悩みは  
“雑草診断のプロ”  
にご相談ください！



法面



中央分離帯



歩道際



植栽帯



目地

道路の雑草問題・雑草診断・防草シートのことなら！

株式会社 白崎コーポレーション

グリーンナップ事業部

本社：福井県鯖江市石生谷町 11-23 TEL,0778-62-2800

東京支店：東京都中央区日本橋本町 3-9-7 富久第 2ビル TEL,03-6892-4400

西日本営業所：兵庫県尼崎市昭和通 3-90-1 尼崎 KR ビルディング 4階 TEL,06-6430-1713

九州営業所：福岡県福岡市博多区豊 1-6-25 TEL,092-473-1452



# チガヤシートが採用されました



現場データ(2014年3月)  
現場 国道463号線(埼玉県)  
浦和越谷バイパス

## 使用資材

チガヤシート、U型アンカーピン、ピンシール、ウレタッチ、U字溝クリップ、アスファルト端部専用ピン、ラバーコート

施工前



施工後



## チガヤシート導入の経緯と効果

通学路として利用している歩道のため地域住民からの苦情が発生。雑草が歩道側にはみ出すことで歩道が狭くなり、利用者の安全性を保てなくなっていました。チガヤシート施工後は景観が良くなり、ゴミの投棄も無くなりました。

# 採用された製品のご紹介

## 防草シート チガヤシート

高い遮光性と貫通抵抗力で強壮雑草の突き抜けを抑制。  
信頼と実績のロングセラー製品です。



## 防草シート固定資材 U字溝クリップ



シート端部をU字溝に巻き込んで固定することで光侵入による雑草発生、風侵入による捲れを防止。

## 構造物まわりの雑草抑止に 防草ラバーコート



今まで草取りや除草剤でしか対処できなかった、防草シートと木材、金属、コンクリート構造物との隙間をガード!

# 越前水仙掘り起こしボランティアに参加しました

福井県は全国でも有数の日本スイセンの群生地です。水仙の品質向上と景観の維持を目的に毎年、越前水仙球根改植ボランティアが行われています。当社では若手社員を中心に有志を募って参加しており、2014年6月8日も社員一同、爽やかな汗を流しました。



引用文献: [1] 廣田伸七. ミニ雑草図鑑～雑草の見分けかた～. 東京都, 全国農村教育協会, 2005, p173  
[2] 独立行政法人国立環境研究所, “侵入生物データベース”. 独立行政法人国立環境研究所.(オンライン).  
入手先 <http://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/81030.html>.(参照 2014-06-24)

編集・制作: 営業企画